

土木学会誌第 42 卷および論文集（昭和 32 年度）総目次

土木学会誌

会長講演

技術の意義について 会長 平山復二郎 7 1

特別講演

北海道総合開発について 正員 工博 大坪喜久太郎 7 7

北海道の古代史 正員 工博 大坪喜久太郎 7 11

講演

改訂コンクリート標準示方書について 正員 工博 吉田徳次郎 1 1

日本水利科学訪中代表団視察報告

中国の治水事業について 名譽員 谷口三郎 3 1

中國の水文学について 正員 理博 速水頌一郎 3 3

中國の水利事業について 正員 伊藤剛 3 5

中國のかんがい排水事業 正員 小柳彌 3 8

中國の水力開発について 正員 市浦繁 3 10

海外建設事情講演会

南米ペルーの鉄道調査にゆきて 正員 飯吉精一 12 1

中近東への日本技術の進出について 正員 工博 鈴木雅次 12 3

欧洲所見 正員 工博 鮫島茂 12 5

アメリカを観察して 正員 平山復二郎 12 7

報告

滲透性地盤上に築造した相模原貯水池 正員 井深功 1 5

斜め格子橋の曲げモーメントの計算法 准員 岡尙平 1 15

第5回国際橋梁・構造会議視察報告

歐米の橋について 正員 工博 平井敦 1 21

フランスおよびスペインの橋梁 正員 工博 安宅勝 1 21

歐米の橋梁雑感 正員 工博 小西一郎 1 22

欧洲におけるコンクリートおよびプレストレスト・コンクリートについて 正員 工博 横道英雄 1 22

独立土木研究所その他について 正員 三浦文次郎 1 23

正員 田原保二夫 1 21

代納橋の設計および制作について 正員 池田哲巖 2 1

正員 松島巖一 1 21

河川の洪水調節計算法 正員 藤芳義男 2 11

カント設定についての一考察 正員 牧野茂樹 2 15

合戦トラス橋の実測的研究 正員 福田武雄郎 3 13

正員 久保慶三 3 13

正員 田原保二夫 1 21

正員 池田哲巖 3 21

正員 松島巖一 1 21

正員 伊藤鉄一 1 21

河道の設計について ——流砂量の觀点からみた—— 正員 佐藤清一 4 1

神戸港における船台築造工事並びに締切工事について 正員 桂川輝長 4 9

道路築造工法に関する最近の調査研究とその応用 正員 工博 谷藤正三 5 1

ホンダ系のウォーターハンマーとその対策 正員 金野仁 5 11

衝撃による地盤支持力の測定について 正員 浅井新一郎 5 17

土水道配水管路の設計上の諸問題 正員 工博 扇田彦一 6 1

地表工学 正員 工博 岡本舜三 7 17

号　頁

ゲート重量推定に関する一考察	正員	沢　治	7	29
(1) 欧米における長大橋梁の基礎工法について	正員	井　翠	8	1
(2) 森の宮橋（鋼床版桁橋）の実験について	正員	橋　雄	8	7
(3) 波止浜海岸、地盤変動対策事業の概要について	正員	小　善	8	7
(4) 井川ダムにおける寒中コンクリート施工について	正員	近　定	8	7
(5) 粘性土におけるコーンの貫入抵抗と一軸圧縮強度との関係	正員	鏡　和	8	7
(6) 都市形態と都市構成の理論とその応用	正員	角　坂	9	1
(7) 重コンクリートについて	正員	川　口	9	1
(8) コンクリートの品質管理のための無破壊試験の利用について	正員	和　久	10	1
(9) 城ヶ島橋梁の計画 —— 主として箱桁の設計について ——	正員	丹　室	10	7
(10) 光弾性実験法とその土木工学への応用	正員	山　山	11	1
(11) 高島海底送水管布設工事について	正員	石　田	11	7
(12) 水　野	水　野	11	11	
(13) 能　登	能　登	12	19	
(14) 上　閣	上　閣	12	19	
(15) 正　員	正　員	工　博	12	27
(16) 正　員	正　員	丹　羽	義	次
(17) 正　員	正　員	中　山	敏	雄

解　　説

コウ水の到達速度に関するいわゆる Rziha の公式と Kraven の表の由来について	正員	井　口	昌	平	1	25	
土質工学序説	正員	工　博	最　上	武	雄	4	19
合成桁について	正員	田　原	保	二	6	11	
コンクリートの品質管理のための管理図の使い方	正員	水　野	俊	一	7	39	
計算器の能率的な使い方	正員	工　博	谷　本	勉	助	8	13
計数型継電器式電気計算機と応用力学問題への応用	正員	工　博	成　岡	昌	夫	9	9
技術士法の要点	正員	松　繩	勉				
		松　井	達	夫			

寄　　書

中近東の建設事情	正員	吉　田	赳	4	25		
土木責任論	正員	工　博	鈴　木	雅	次	6	25
昭和 32 年建設機械展示会を見て	正員	加　藤	三	重	次	6	29
台湾におけるプレストレスト コンクリートの現況	正員	藤　田	亀	太	郎	9	21
	正員	宮　崎	義	成			
谷口さんを憶う	正員	工　博	米　田	正	文	9	26
谷口三郎先生の思い出	正員	田　淵	寿	郎			
佐土原 黙君のこと	正員	安　東	功				
佐土原さんを悼みて	正員	信　沢	貞	治			
橋梁の高欄について	正員	尾　崎	義	一	10	13	
南極大陸に立ちて —— 昭和基地建設記 ——	正員	清　水	賢	二	10	21	
プレストレスト コンクリート国際会議に出席して	正員	平　山	復	二	郎	11	13
西ドイツの道路事情について	准員	岩　間	滋	11			
南極における空中写真の利用	正員	鍛　治	晃	三	12	43	

資　　料

欧米の吊橋に関する資料	正員	工　博	平　井	敦	1	29
ランガー橋不静定力の近似計算法 —— 主としてランガー橋について ——	准員	成　瀬	輝	男	2	21
国際住宅および都市計画会議	正員	五　十　嵐	醇	三	5	23
欧米の高速自動車道路の維持について (1) 米国および英國	正員	渡　部	与	四	郎	
欧米の高速自動車道路の維持について (2) フランス・イタリー・西ドイツ	正員	藤　森	謙	一	5	27
	正員	藤　森	謙	一	6	17

号　頁

独立 P C バリの高さについて	正員	木村 又左衛門	6	23
鉄道管理とオートメーション	正員	商博 石田 武雄	7	49
エカフエ道路安全セミナー	正員	工博 星埜 和	7	51
黄河三門峽ダムの設計概要	編集部		8	19
工業教育に望む	編集部		9	31
武漢長江大橋建設工事について	編集部		10	25
* 斜め単純版の設計について	編集部		11	19
日本道路会議について	正員	富樫 凱一	12	49

講　　座

基礎工 [Ⅲ]—3. 基礎工破壊の原因	正員	高木 進	1	33
基礎工 [Ⅳ]—4. 杭基礎 (1)	正員	白石 俊多	2	25
基礎工 [Ⅴ]—4. 杭基礎 (2)	正員	白石 俊多	3	31
溶接 [I]—鋼橋の溶接 (1)	正員	田中 五郎	4	31
溶接 [II]—鋼橋の溶接 (2)	正員	田中 五郎	5	33
溶接 [III]—鋼橋の溶接 (3)	正員	田中 五郎	6	31
溶接 [IV]—ガス圧接法による鉄筋の接合	正員	稻積 豊二郎	7	53
地下水 [I]—地下水の計算について	正員	工博 本間 仁	8	23
地下水 [II]—地下水調査	正員	近藤 利八	9	33
地下水 [III]—トンネルと地下水	正員	広田 孝一	10	27
建設機械の償却について	正員	工博 中岡 二郎	11	23
寒地におけるコンクリート [1]	正員	工博 横道 英雄	12	53

文　献　抄　録

	号　頁	号　頁	
地下水位の予報	1 38	ソ連における無継目レールの現況	6 43
コンクリートの耐凍性について	1 39	カナダの新都市	6 44
ペルーおよびブラジルの新水力開発	1 41	アスファルト舗装混合の新しい分類方法	6 45
記録的な全溶接橋	1 42	ソ連におけるダム兼用型発電所について	7 61
イタリアのアーチダム	2 35	ボンド川における漏水流量予報	7 62
洪水波とともに土砂濃度のおくれ	2 36	ドイツの高速度自動車道路における交通量、幾何学的設計と事故率との関係	7 64
Tampa湾に跨る四車線橋の建設	2 37	A.C.I. のコンクリート舗装設計指針について	7 66
特殊型ワクによるコンクリート打設の	3 35	単径間鋼道路橋の振動	8 29
スピード化	3 35	揚水発電の経済性について	8 30
排水井系による堤防漏水対策工法の実例	3 36	基礎杭支持力の経験公式	8 32
プレストレスト工法による老朽トラス橋の補強	3 37	中央分離帯幅員と事故との関係について	8 32
最大支間 200 ft のコンクリート連続箱桁橋	4 36	孤立波理論の浅海における振動波への適用について	8 33
水路底より分流のある流れ	4 37	重要通過路線上の横断施設	9 39
Rhône 河 La Voulte 鉄道橋の復旧	4 38	格子桁橋の設計	9 39
米国州際道路網の構造規格	4 39	世界最長の Mackinac 吊橋の近況	9 41
アメリカにおける深い橋脚基礎の新工法	4 39	まれに起るような大洪水の頻度の算定	9 42
—特に大量生産の場合に適した—		高速度自動車道路の設計と運用に関する考察	10 35
高熱を受けたコンクリートの圧縮強度	5 37	コワザマトリックスによるトラスの解決	10 36
埋設管に生ずる応力	5 38	三軸試験における粒状物質の体積変化	10 38
鋼材の塗装	5 39	埋込みピンの引抜きによるコンクリートの硬化速度の測定	10 39
フランス国鉄 330 km/h 高速列車試験における軌道関係測定項目および使用計器	5 40	オーストラリアにおける工業港の計画について	11 31
木材によるコンクリート杭の防護	5 41		
橋梁工事をいかに計画すれば速かに完成できるか	5 42		
特性曲線法による開水路不定流の計算	6 41		

号　頁	号　頁
水圧鉄管の設計と施工.....11 32	ヒステリシスを有する系のアナコン.....12 64
ダム洪水吐減勢工の被害調査.....11 34	ソイルセメントの失敗例?.....12 64
スエーデン国定コンクリート規則の水密性.....11 35	貨車操車場のオート・メーション.....12 66
試験標準方法	
点雨量と面積雨量の相関.....12 61	都市改造に関する実行可能な勧告.....12 67
実物大凍上試験.....12 63	

土木学会論文集

号　頁	号　頁
河床における砂礫堆の形成について(別刷論文集).....正員 —蛇行実態の一観察—	木下良作.....42
箱桁橋の立体的応力解析.....正員 正員	工博 小西一定郎夫.....43 1
任意に配置された数個の等径円孔を有する薄板の引張り.....正員	小松定夫.....43 11
道路橋の安全性に及ぼす自動車荷重の影響.....正員	岡林稔.....43 11
越流頂余水吐きの数量係数について.....正員	西村昭.....43 23
時系列論よりみたわが国水文諸量の性格について.....准員	岩崎敏夫.....43 29
洪水追跡器の実河川への適用について.....正員	高瀬信忠.....43 38
土の圧縮指数に関する一考察.....准員	石原安雄.....43 43
粒体層の圧縮に関する一考察.....正員	西田義親.....43 48
側方拘束土の振動締固めに関する実験的研究.....正員 正員 准員	谷本喜一.....43 53
二辺支持矩形板の近似解法について.....正員	工博 村山朔郎.....43 59
マトリックスの Affin 標示及びその理論 —構造力学に応用せる行列の性質について—.....准員	大村裕.....44 1
鉛より加えられる荷重によつて引張りをうける薄板の応力分布.....正員	島田静雄.....44 8
鉄鉄管の残留応力について.....正員 准員	岡林稔.....44 13
アーチダムに働く地震時動水圧.....准員	薄勝田正一.....44 22
突堤の耐震性に関する二、三の考察 ——震度分布について—正員	小坪清真.....44 28
工事単価算定に関する一考察.....正員 正員	工博 畑中元弘.....44 38
Method of Fast Conversion for Solving the Linear Simultaneous Equations with Principal Diagonal Coefficients.....正員	西澤井治毅.....44 49
支間 40m のプレストレストコンクリート道路橋(福島県 上松川橋)の設計、施工およびこれに関連して行つた実験研究の報告(別刷論文集)	工博 新郷高一.....44 56
コンクリートの水密性に関する研究(I) —セメント分散剤がコンクリートの水密性に及ぼす影響—.....正員	田原保二.....45
コンクリートの加温乾燥のくりかえしによる残留変形について.....正員	猪股俊司.....45
降伏荷重を受けるピントラスの非弾性挙動について.....正員	波多野義孝.....45
浮遊砂を有する水流の諸特性について.....准員	牛島泰興.....45
アーチダムに働く動水圧の模型実験.....准員	村田二郎.....46 1
円形立て坑の周囲における弾塑性応力状態.....正員	大浜文彦.....46 7
地下水位の地すべり移動速度に及ぼす影響について.....正員	西村昭.....46 15
駐車場計画における車両の出入量強度の算定法と運営に関する基礎的考察.....正員	志村博康.....46 22
静荷重をうけた砂利層の諸性質について —沈下の場合—正員	小坪清真.....46 30
吊橋の耐風安定性について.....正員	伊藤富雄.....46 34
行列による平面骨組構造の解法.....正員	谷口敏雄.....46 39
対数正規分布とその積率による解法.....正員 准員	毛利正光.....46 46
	最上幸夫.....46 52
	工博 平井敦.....47 1
	大地羊三.....47 7
	工博 石原藤次郎.....47 18
	高瀬信忠.....47 18

		号	頁
対数正規分布に関する順序統計学的考察	准員	高瀬信忠	47 24
道路トンネルの換気における一様分流管及び合流管の主管内静圧 ならびに分歧管開度計算法	正員	伊吹山四郎	47 30
不規則な地震動による動水圧	准員	小坪清真	47 38
盛土内応力分布に関する研究	正員	赤井浩一	47 46
分歧器が蒸気機関車より受ける横圧力	正員	工博 小野一良	47 52
線型計画法による保線計画の理論とその適用について	正員	工博 小林勇男	47 60
	准員	後佐木綱	
プレストレストコンクリートスラブ式二ヒンズ ラーメン橋の設計法に関する研究(別刷論文集)	正員	猪股俊司	48
プレストレストコンクリート舗装に関する実験的研究	正員	工博 近藤泰夫	
	正員	工博 武岡清彦	49 1
	准員	工博 田川昭果	
	准員	工博 村坂彌	
バスタークナルの計画運営の理論に関する研究	正員	毛利正光	49 9
アースダムの振動性状について	正員	工博 横尾義貴	
	正員	工博 岩崎雄隆	49 17
	正員	工博 高山正	
被圧地下水の揚水による帶水層常数の決定に関する二、三の考察	正員	村山朔彦	49 25
	正員	赤井浩伸	
	准員	工博 木彦	
下水貯留濃縮槽の底部広配	正員	川島普	49 32
連続弾性支持二重バリの点荷重による変形	正員	佐藤裕	49 42
箱桁橋の実用計算について	正員	小松定夫	49 50
曲りバリ公式によるラーメン隅角部の応力計算	正員	井上広胤	49 59
AEコンクリートにおける単位セメント量、水セメント比(w/c), 空気量の変化が圧縮強度、強度増進、水密性、耐久性等におよぼす影響の研究(別刷論文集)	正員	閔慎吾	50
レール応力の光弹性学的研究	正員	工博 小西一郎	
	正員	工博 丹羽次郎	51 1
	准員	工博 川本義勝	
継目衝撃に関する研究	正員	工博 八十島次万	
限界掃流力付近の流砂に関する研究	正員	松梨順三郎	51 8
噴水式水叩の水理について	正員	荒木正夫	51 16
雨水流による土砂の剥離と輸送について	正員	工博 岩垣義人	51 25
	准員	工博 土屋義人	
2-主桁並列型式の鋼床板版橋の設計計算について —鋼床板の有効幅に関する理論的研究—	正員	鈴木俊男	51 34
バネ支承で支持された連続桁の性質について (Affine変換を利用する不静定構造物の解法)	准員	島田静明	51 41